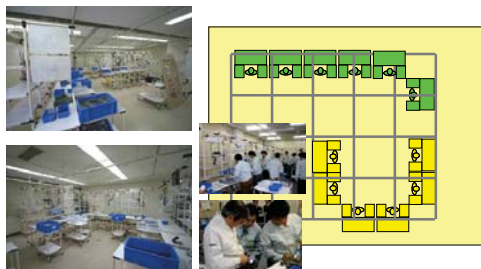


研究室 環境ものづくり経営研究室 教員名 皆川 健多郎
カテゴリー ものづくり・製造技術

ものづくり・製造技術

生産性向上を実現 カイゼン人材育成のための教材開発と効果



模擬生産ライン（多工程セルライン）と組立製品例

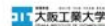


2007年問題（団塊世代の一斉退職による熟練技能の喪失）の問題解決のために、経済産業省が実施した平成17・18年度産学連携製造中核人材育成事業（委託事業）に公益財団法人関西生産性本部が管理法人を務めたプロジェクトに参加以来、本テーマに関する研究に取り組みを進めている。

本プロジェクトでは、主としてカリキュラムの開発に取り組むとともに、その一環として実践的教育訓練設備である模擬生産ラインの構築を産学連携で取り組んだ。06年に学内に“ものづくりマネジメントセンター”を設置し、学の拠点形成するとともに、文部科学省が実施した平成19・20・21年度社会人学び直し教育プログラム推進事業（委託事業）の採択を受け、さらに教材開発、カリキュラム開発を進めてきた。これらの資源を活用して、経済産業省のものづくり指導者育成事業（補助事業）（11、12年度）の採択も受けている。最近では、経済産業省より大阪商工会議所が採択された「スマートものづくり指導者育成事業」にも参加している。

関係する団体は、（公財）関西生産性本部・関西IE協会、大阪商工会議所、大阪府中小企業家同友会、大阪府商工労働部ものづくり支援課、（一財）海外産業人材育成協会（AOTS）、（公財）太平洋人材交流センター、（独行）国際協力機構（JICA）、ポリテクセンター京都等、多岐にわたる。

レゴブロックを活用した動作分析



■ タイムスタディ
産学、演習、発表を通じて、実際にその内容を理解する
整理、整頓(2S)
動作経済の原則
7つのムダ
ベストポジションなど
核となる原理・原則を理解する



レゴブロックを活用したラインバランス分析



■ ラインバランス
産学、演習、発表を通じて、実際にその内容を理解する
ボトルネック
ラインバランス
市場への同期生産
省人化など
の原理・原則を理解する



レゴブロックを活用した動作改善演習、ラインバランス演習

現在、多数の企業と学術指導の契約を締結して、各社のカイゼン活動に関する検討を共に実施している。“理論と実践”の両面から、社内におけるカイゼン活動について改善アドバイザーとして学術的視点から検討に参画している。

■ 掲載原稿：産学官連携ジャーナル（2017年11月号）、科学技術振興機構（JST）



ウクライナの未来のために絶対に必要。

ウクライナの企業経営者には何もかもが初体験。



近年、海外からの研修講師が増加する中、本年2月にはウクライナ国ヴィーンヌィツァ市にて研修（9月19日より再渡航中）。

■ 掲載原稿：PREX NOW(Vol.248 2018.5)